

令和 8 年度
第2回蕪崎市水道事業運営委員会
資料

蕪崎市上下水道課

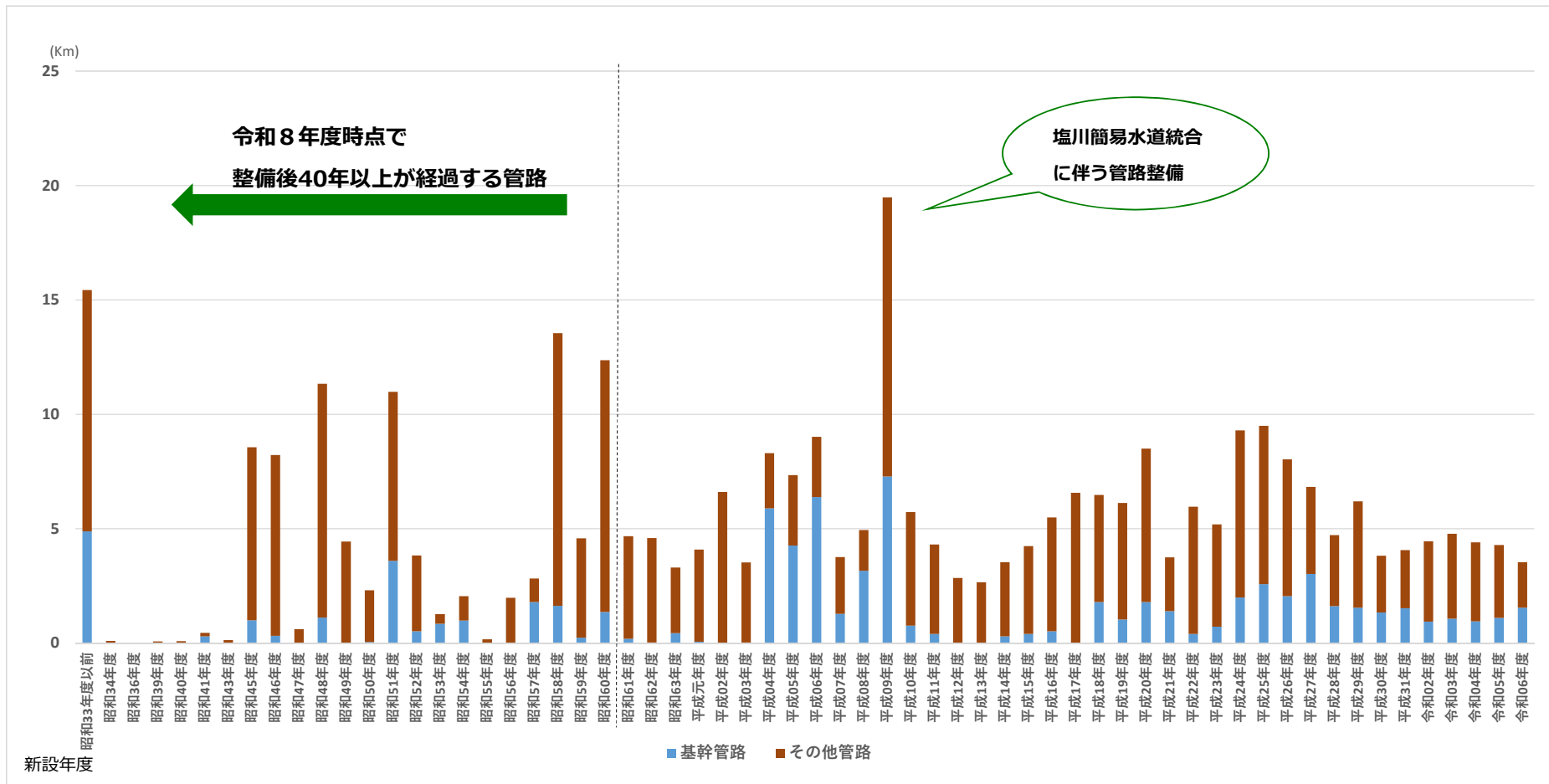
目次

1. 投資計画	P.1
2. 料金回収率	P.4
3. 現行料金水準における財政シミュレーション	P.5
4. 料金改定における財政シミュレーション	P.6
5. 料金改定の比較と今後の方向性	P.9

1. 投資計画

(1) 管路の状況

法定耐用年数（40年）を経過する管路は年々増加しています。老朽化した管路は漏水のリスクがあるため、計画的な更新が必要となります。



	市内水道管	
	延長 (m)	割合 (%)
法定耐用年数経過（～昭和60年）	105,210	31.9
法定耐用年数40年以下（昭和61年～）	224,784	68.1
計	329,994	100.0

※令和6年度末現在

(2) 水道施設（水源・受配水池）の状況

水系	水源（予備水源を除く）					
	水源名	種別	取水量 (m3/日)	浄水量 (m3/日)	竣工年度	経過年数
第1受配水池系	広域水道受水	浄水	210	210	-	
	計		210	210		
第2受配水池系	穂坂中央水源	深井戸	270	270	S52	48
	上ノ山水源	深井戸	100	100	S41	59
	柳平水源	湧水	50	50	S47	53
	上今井・原・長久保水源	深井戸	100	100	S47	53
	広域水道受水	浄水	1,670	1,670	-	
	計		2,190	2,190		
第3受配水池系	穴山水源	深井戸	100	100	S49	51
	新府第2水源	深井戸	100	100	S59	41
	広域水道受水	浄水	4,190	4,190	-	
	計		4,390	4,390		
第4受配水池系	宝貴沢水源	湧水	2,400	2,160	-	
	若尾水源	浅井戸	300	300	S45	55
		深井戸	1,300	1,300	S45	55
	海老島水源	浅井戸	300	300	S57	43
	一ツ谷第1水源	浅井戸	60	60	S56	44
	塩川第2水源	深井戸	330	330	S53	47
	御勅使水源	深井戸	1,780	1,780	H2	35
	岩下水源	深井戸	90	90	S62	38
	湯舟水源	深井戸	400	360	H19	18
	広域水道受水	浄水	3,230	3,230	-	
	計		10,190	9,910		
合計			16,980	16,700		

受・配水池					
名称	構造	容積 (m3)	竣工年度	経過年数	耐震性能 ※
第1受配水池	RC	478	H9	28	Lv2
第1配水池（日之城第1配水池）	RC	67	S49	51	Lv1
第2配水池（三之蔵配水池）	RC	54	S51	49	Lv1
第3配水池（日之城第2配水池）	RC	54	S49	51	Lv1
計		653			
第2受配水池	PC	1,345	H7	30	Lv2
穂坂中央第1配水池	RC	70	不明	経過	Lv1
穂坂中央第2配水池	RC	140	不明	経過	Lv1
鳥の小池第1配水池	RC	44	不明	経過	Lv1
鳥の小池第2配水池	RC	70	不明	経過	Lv1
鳥の小池配水池	SUS	1,100	R6	1	Lv2
上ノ山配水池	RC	33	不明	経過	Lv1
柳平 第1配水池	RC	3	不明	経過	Lv1
柳平 第2配水池	RC	22	不明	経過	Lv1
上今井・原・長久保 第1配水池	RC	40	不明	経過	×
上今井・原・長久保 第2配水池	RC	60	不明	経過	Lv1
上今井・原・長久保 第3配水池	RC	5	不明	経過	Lv1
上今井・原・長久保 第4配水池	RC	40	不明	経過	Lv1
計		2,972			
第3受配水池	PC	2,315	H8	29	Lv2
中田・藤井配水池	RC	280	S57	43	Lv1
久保配水池	RC	40	S61	39	Lv1
穴山配水池	RC	140	S49	51	Lv1
新府配水池	RC	175	S57	43	Lv1
祖母石配水池	RC	40	S49	51	Lv1
計		2,990			
第4受配水池	PC	4,194	H8	29	Lv2
甘利第1配水池	PC	600	H21	16	Lv2
甘利第2配水池	RC	204	不明	経過	Lv1
甘利第3配水池	SUS	1,350	R1	6	Lv2
富士見ヶ丘 第1配水池	SUS	600	H16	21	Lv1
塩川配水池	RC	150	S53	47	Lv1
御勅使配水池	RC	200	H2	35	Lv1
岩下配水池	RC	40	S62	38	Lv1
湯舟配水池	SUS	168	H9	28	Lv1
計		7,506			
合計		14,121			

耐用年数を経過している水道施設及び、今後10年以内に耐用年数を過ぎる施設も含め、計画的な維持管理・耐震補強・補修等による「**長寿命化**」と、**適切な時期の更新**を進めていくことが求められます。

また、緊急時の**供給停止リスク**（短時間で水が枯渇してしまう懸念など）を抱える配水池については、**必要な容量の確保**を見据えた更新を進めていく必要があります。

…耐用年数（60年）を経過した施設

…今後10年以内に耐用年数を経過する施設

※耐震性能について

Lv 1 …施設の設置場所で想定される地震のうち、
供用期間中に高い確率で発生する地震に耐える構造

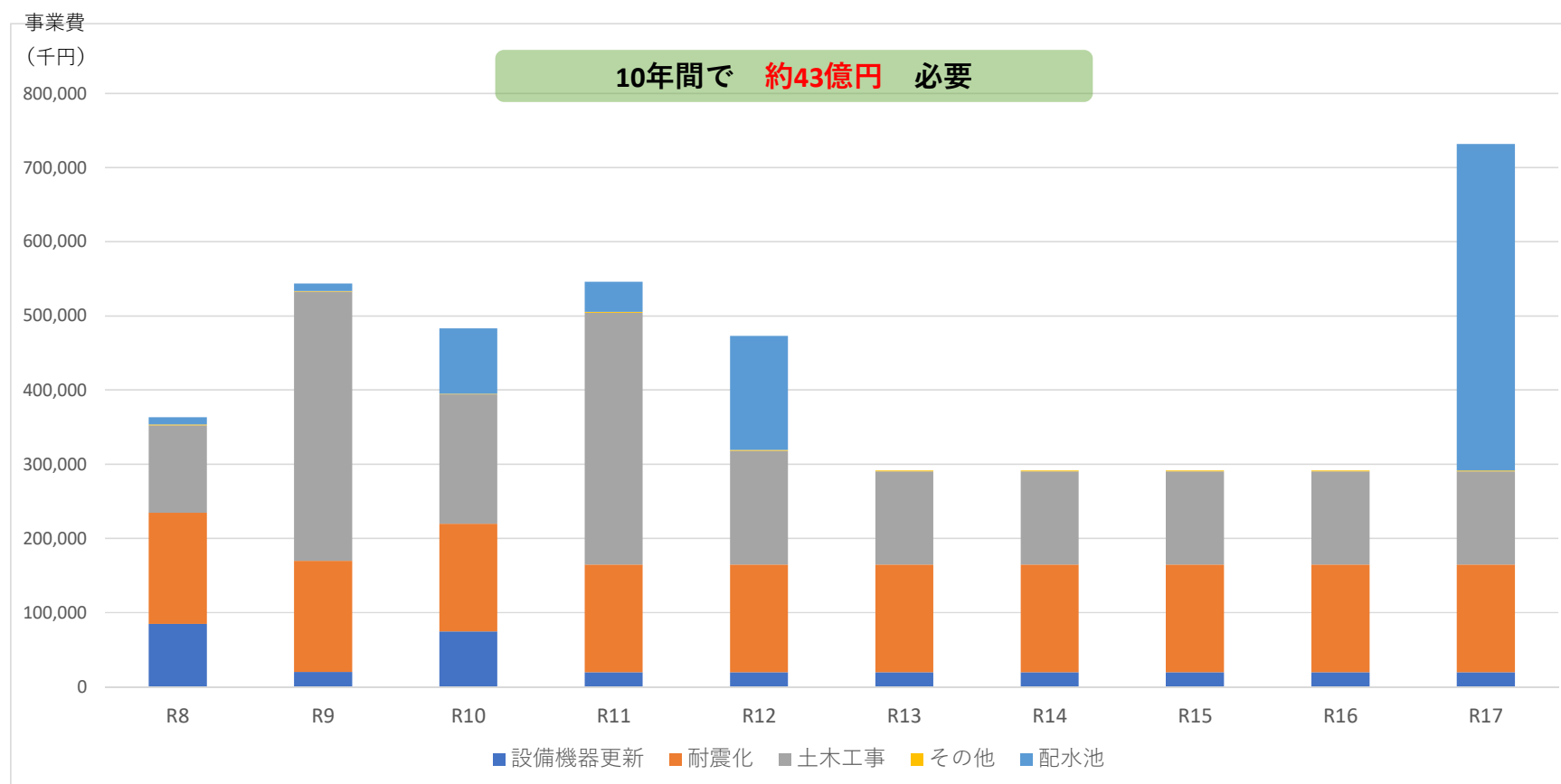
Lv 2 …施設の設置場所で想定される地震のうち、
最大規模の地震に対して致命的な被害を防ぐ構造

(3) 令和8年度～令和17年度の投資計画

本市の水道施設や管路は今後さらに老朽化が進んでいきますが、これらを一度にすべて更新しようとするれば、莫大な資金が必要となり、水道料金の大幅な値上げに直結してしまいます。

そのような事態を避けるため、令和7年度に策定した韮崎市水道事業経営戦略では、日々の維持管理による施設の延命化を図るとともに、災害時に備えた基幹管路の優先的な耐震化、さらには緊急時の供給停止リスクに対応する配水池の更新などを進めることといたしました。

限られた財源の中で**効果的な投資を行って費用を抑え**つつ、将来にわたって**安全・安心な水を安定して供給するための**投資計画となっております。



項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
建設改良費 (千円)	363,522	543,675	483,175	545,875	473,220	291,720	291,720	291,720	291,720	731,720

2. 料金回収率

水道料金回収率とは、水道水をつくる・届ける費用（給水原価）を、水道料金の収入（供給単価）でどの程度まかなえているかを示す割合です。

本市の料金回収率（R7年度：73.7%）は**同規模自治体※の平均（約93%）**を下回る水準にあります。持続可能な事業運営に向け、この水準の引上げ（改善）が大きな課題となっています。

※同規模自治体 … 給水人口が同程度の全国の水道事業

○ 計算式

供給単価： 1 m³あたりの水道料金収入 = **給水収益 ÷ 有収水量**

給水原価： 1 m³の水を作るためにかかる費用 = **（総費用－長期前受金戻入） ÷ 有収水量**

* 総 費 用 … 水道水を供給するためにかかったすべての経費。

内訳は、人件費・修繕費・動力費・薬品費・受水費・減価償却費・資産減耗費など

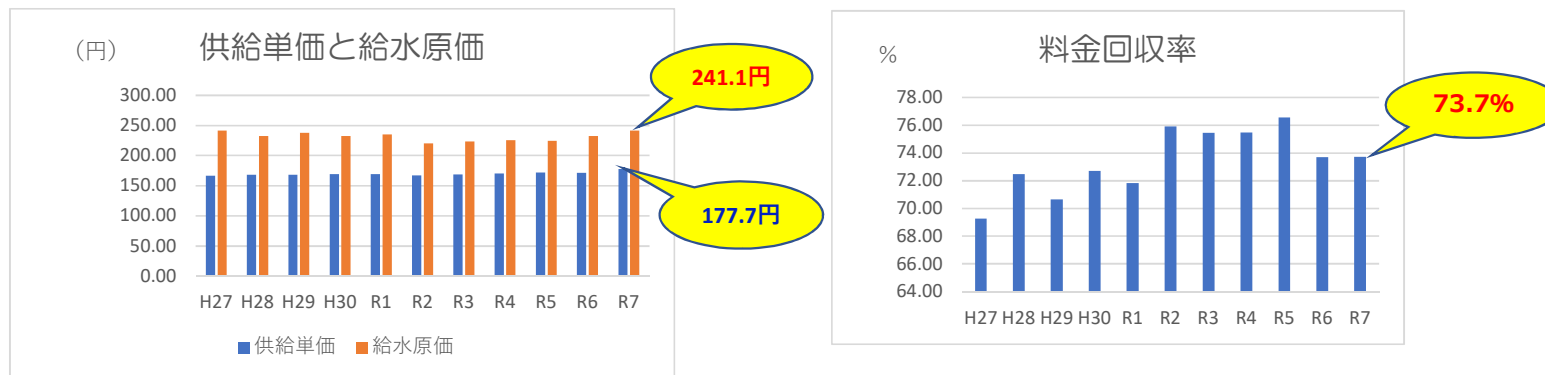
* 長期前受金戻入 … 施設を整備する際に国などから受け取った補助金のうち、当期の減価償却費に対応する額を収益化した額

料金回収率： **供給単価 ÷ 給水原価 × 100**

* 100%以上：水道料金だけで経営に必要な経費をまかなえている状態

* 100%未満：水道料金だけでは費用を支払うことができず、他の収入（一般会計からの補助金など）で補っている状態です。

○ 本市の供給単価・給水原価と料金回収率の推移（第1回資料再掲）



項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
供給単価 (円)	167.0	168.3	168.1	169.0	168.8	167.2	168.6	170.3	171.8	171.2	177.7
給水原価 (円)	241.1	232.2	237.9	232.5	235.0	220.3	223.6	225.6	224.4	232.4	241.1
料金回収率	69.3	72.5	70.7	72.7	71.8	75.9	75.4	75.5	76.6	73.7	73.7

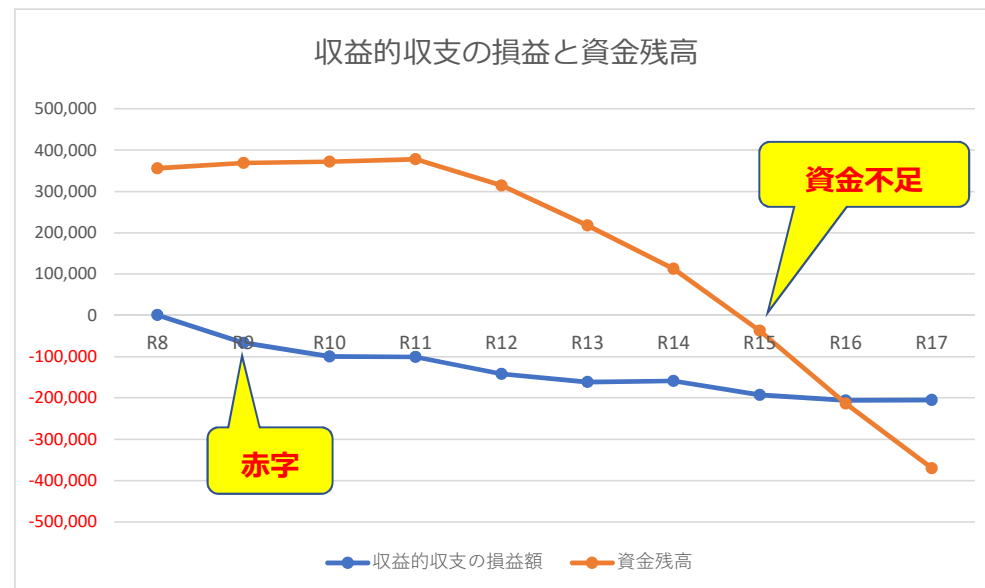
3. 現行料金水準における財政シミュレーション

現行料金水準での経営を続けた場合…

令和9年度以降は赤字経営が常態化し、令和15年度には資金が底をついて事業継続が困難になるというシミュレーション結果になりました。

早期に経営基盤を立て直さなければ、安全な水道水の供給そのものが脅かされる重大な局面に直面しています。

また、料金回収率については、同規模自治体の平均（約93%）との差が広がるだけでなく、令和17年度には66.3%へと更に低下し、改善を図ることができないシミュレーションとなっています。



項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的収支の損益額（千円）	790	▲ 66,306	▲ 99,747	▲ 100,724	▲ 141,987	▲ 161,539	▲ 159,019	▲ 192,634	▲ 205,820	▲ 205,008
資金残高（千円）	356,284	368,645	371,955	378,086	314,495	217,571	112,992	▲ 37,333	▲ 213,145	▲ 369,989
供給単価（円/㎡）	177.43	180.12	181.42	182.72	182.50	182.36	182.17	182.08	181.99	181.91
給水原価（円/㎡）	235.11	238.61	241.44	245.06	245.15	252.83	257.54	263.22	268.55	274.36
料金回収率（%）	75.47%	75.49%	75.14%	74.56%	74.44%	72.13%	70.73%	69.17%	67.77%	66.30%

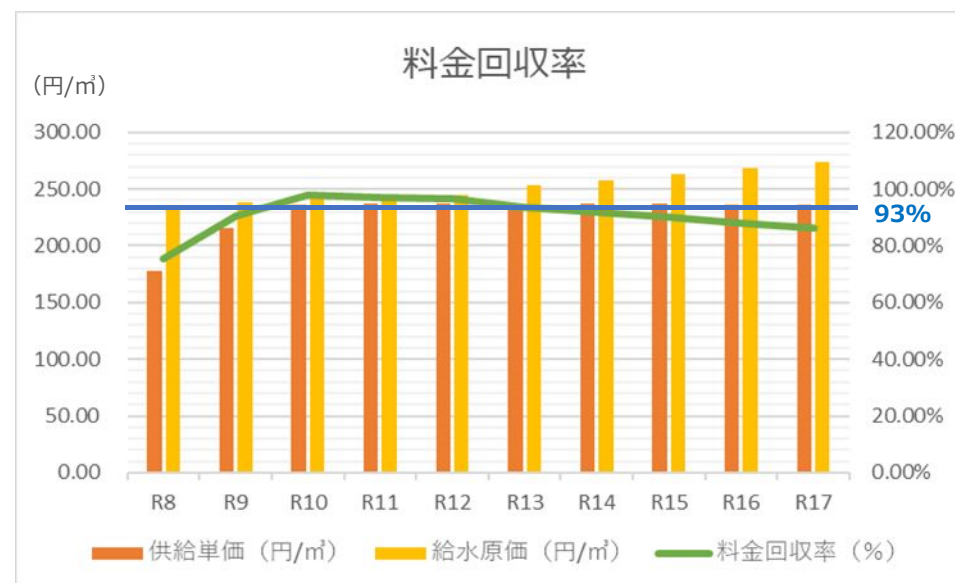
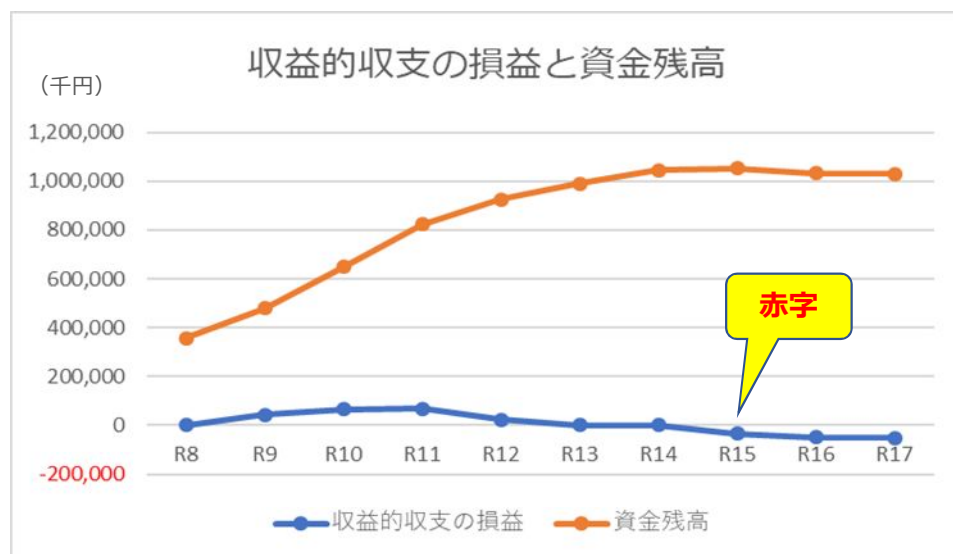
4-1. 料金改定における財政シミュレーション

料金改定率 30%

基本料金（2ヶ月・20㎡まで/13mmメーター使用）の目安： **2,706円（現行） → 3,517円**

30%の料金改定により、令和14年度までは黒字経営を維持し、同年度の資金残高は10億円を超える見込みです。この結果は、コストを抑えた計画的な投資計画に基づくものですが、資金にゆとりが生み出せば、より迅速な管路の耐震化や施設の更新に対応できるようになります。

料金回収率は令和10年度には97.69%と同規模自治体の平均を超え、令和14年度まで90%以上を維持します。しかし、30%の改定を行っても、令和15年度には再び赤字経営に転落し、料金回収率も90%を割るため、将来に向けた更なる料金の見直しが必要となります。



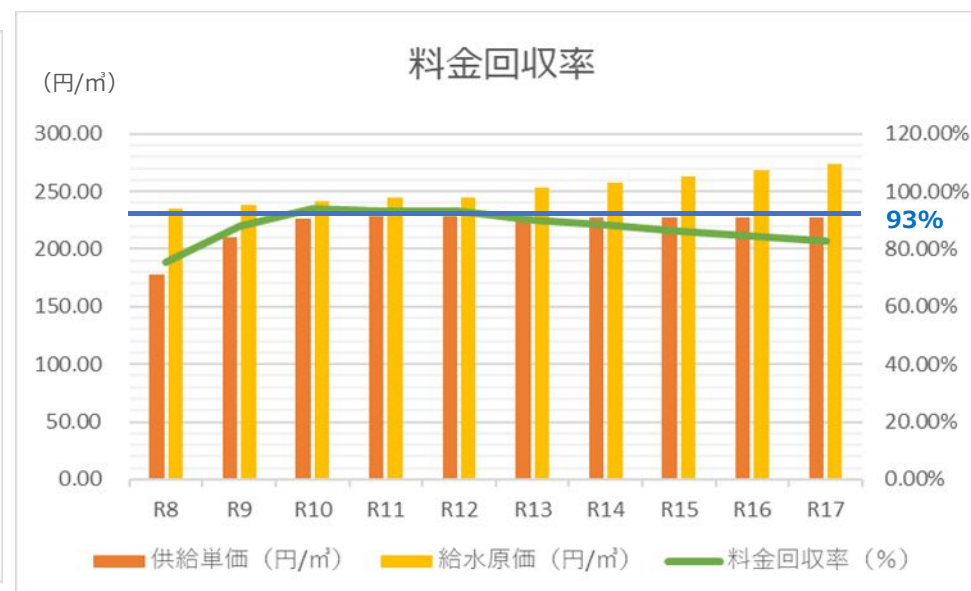
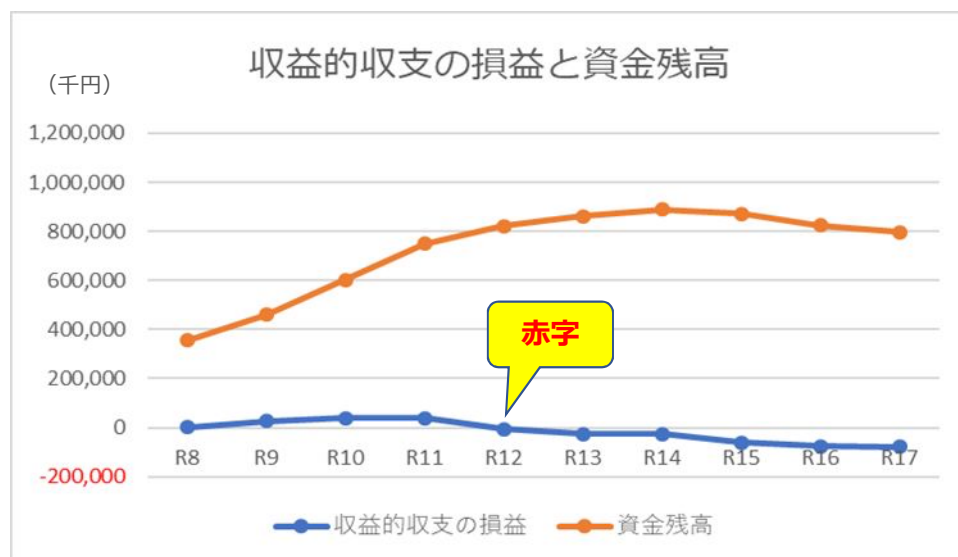
項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的収支の損益（千円）	790	44,121	66,875	66,981	23,163	1,126	1,243	▲ 34,698	▲ 50,144	▲ 51,526
資金残高（千円）	356,284	479,072	649,004	822,840	924,399	990,140	1,045,823	1,053,434	1,033,298	1,029,936
供給単価（円/㎡）	177.43	216.14	235.85	237.54	237.26	237.07	236.83	236.71	236.59	236.49
給水原価（円/㎡）	235.11	238.61	241.44	245.06	245.15	252.83	257.54	263.22	268.55	274.36
料金回収率（%）	75.47%	90.59%	97.69%	96.93%	96.78%	93.77%	91.96%	89.93%	88.10%	86.20%

4-2. 料金改定における財政シミュレーション

料金改定率 25%

基本料金（2ヶ月・20㎡まで/13mmメーター使用）の目安： 2,706円（現行） → **3,382円**

25%の料金改定を行った場合、令和10～12年度の料金回収率は93%を超えるものの、令和12年度には赤字経営に転落し、令和14年度以降は料金回収率も90%を割る結果となりました。このため、早い段階（令和12年度頃）での継続的な見直しが不可欠となります。



項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的収支の損益（千円）	790	25,664	39,027	38,953	▲ 4,438	▲ 26,060	▲ 25,541	▲ 61,094	▲ 76,162	▲ 77,177
資金残高（千円）	356,284	460,615	602,699	748,507	822,465	861,020	889,919	871,134	824,980	795,967
供給単価（円/㎡）	177.43	210.12	226.76	228.38	228.11	227.93	227.70	227.57	227.47	227.37
給水原価（円/㎡）	235.11	238.61	241.44	245.06	245.15	252.83	257.54	263.22	268.55	274.36
料金回収率（%）	75.47%	88.06%	93.92%	93.19%	93.05%	90.15%	88.41%	86.46%	84.70%	82.87%

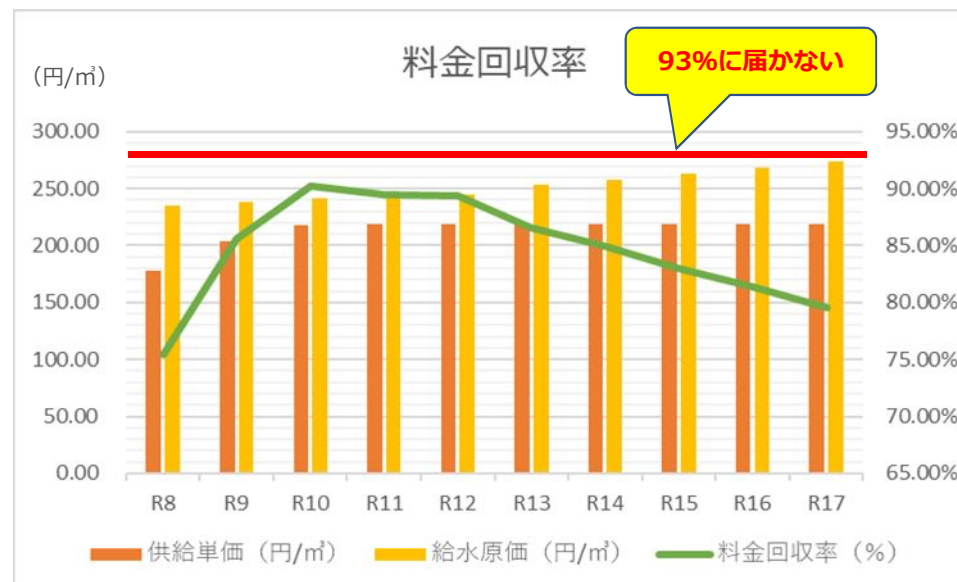
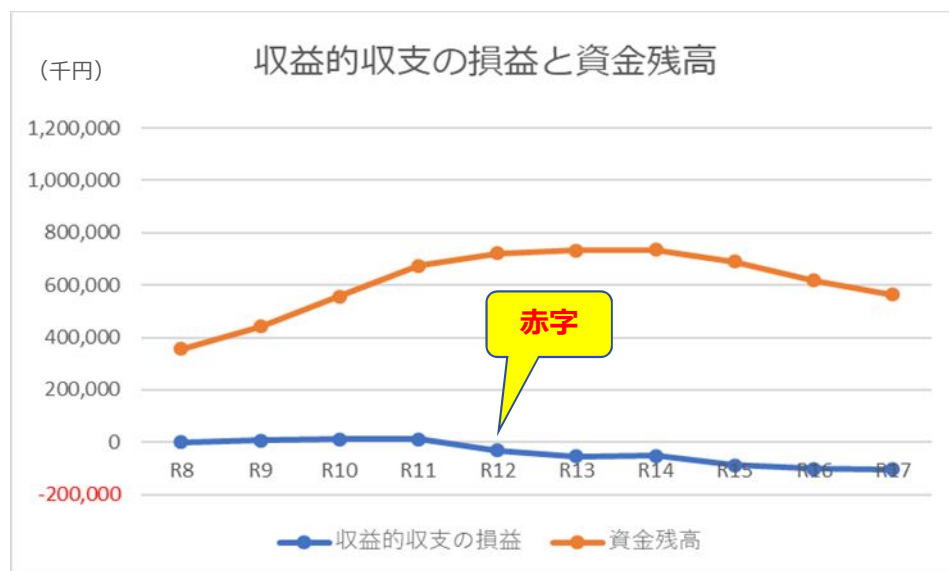
4-3. 料金改定における財政シミュレーション

料金改定率 20%

基本料金（2ヶ月・20㎡まで/13mmメーター使用）の目安： 2,706円（現行） → **3,247円**

20%の改定では、令和12年度の赤字幅が約3,200万円と大きく拡大します。また、料金回収率についても、令和10年度に90%をやや上回るものの、その後は下降を続け、令和17年度には再び80%を下回る予測となっております。

持続可能な経営を維持するためには、この案においても、令和12年度頃の早期な見直しが求められます。



項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的収支の損益（千円）	790	7,364	11,412	11,156	▲ 31,811	▲ 53,021	▲ 52,104	▲ 87,271	▲ 101,964	▲ 102,616
資金残高（千円）	356,284	442,315	556,784	674,795	721,380	732,974	735,310	690,348	618,392	563,940
供給単価（円/㎡）	177.43	204.15	217.74	219.29	219.03	218.86	218.64	218.52	218.42	218.32
給水原価（円/㎡）	235.11	238.61	241.44	245.06	245.15	252.83	257.54	263.22	268.55	274.36
料金回収率（%）	75.47%	85.56%	90.18%	89.49%	89.35%	86.56%	84.89%	83.02%	81.33%	79.57%

5. 料金改定案の比較と今後方向性について

各改定率における将来シミュレーションと基本料金は下表のとおりです。

いずれの案においても**中長期的な再見直しは避けられません**が、今回の料金改定で「どの程度まで負担をお願いするか」「いつの時点で次の見直しを迎えるか」など、持続可能な水道経営に向けた最適な改定案についてご審議をお願いいたします。

項目	現行料金	30%改定案	25%改定案	20%改定案
13mmメーター使用 20㎡まで（基本料金） 2ヶ月ごと（税込み）※	2,706円	3,517円（+811円）	3,382円（+676円）	3,247円（+541円）
13mmメーター使用 50㎡（一般家庭） 2ヶ月ごと（税込み）※	7,392円	9,610円（+2,218円）	9,240円（+1,848円）	8,870円（+1,478円）
収益的収支の損益	令和9年度より赤字	令和15年度より赤字	令和12年度より赤字	令和12年度より赤字
料金回収率	目標値（93%）に及ばない	令和14年度まで90%以上を維持	令和10～13年度は 90%以上を維持	令和10年度のみ90%を超える
赤字幅・経営状況	令和9年度には大きく赤字 令和15年度には経営破綻	しばらくは安定した経営	令和13年度には大きく赤字	令和12年度には大きく赤字
次の見直し時期	—	令和15年度	令和12年度	令和12年度

※料金は目安です

【次回の予定について】

今回のシミュレーションを踏まえた料金改定の方向性をもとに、次回（11月下旬予定）委員会では、「**具体的な料金設定案**」をお示しする予定です。